

# 自転車の交通事故の現状

## 1 兵庫県下の交通事故情勢

### (1) 令和7年中の交通事故発生状況

年	区分	人身事故件数	死者	傷者	
				重傷	
令和7年		14,458	98	16,967	856
令和6年		15,551	109	18,353	972
増減数		-1,093	-11	-1,386	-116
増減率		-7	-10.1	-7.6	-11.9

【交通事故死者】98人（前年対比-11人）

【人身事故件数】14,458件（前年対比-1,093件）

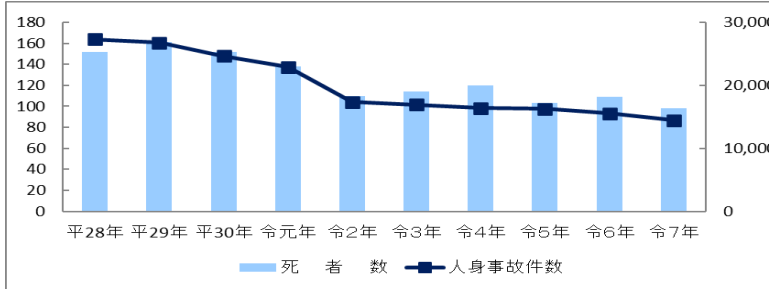
【年齢別死者】高齢者の占める割合55.1%（死者98人中、高齢者54人）

【時間別死者】18～20時14人（+3人）が最多、次いで6～8時13人（±0人）、14～16時13人（+7人）12～14時9人（+2人）、10～12時8人（+3人）、

16～18時8人（-3人）、0時～2時8人（+3人）の順

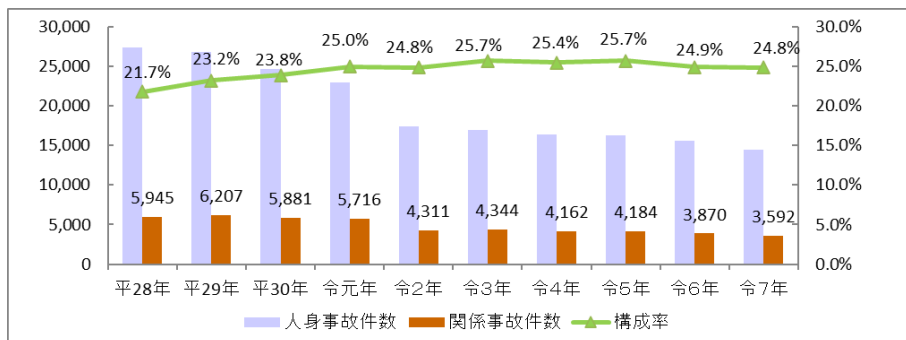
### (2) 過去10年の死者数と人身事故件数の推移

区分	年別	平28年	平29年	平30年	令元年	令2年	令3年	令4年	令5年	令6年	令7年	増減数
		人身事故件数	27,340	26,791	24,667	22,896	17,352	16,929	16,372	16,281	15,551	14,458
死者数	152	161	152	138	110	114	120	103	109	98	-11	
傷者数	33,397	32,878	29,945	27,501	20,489	20,043	19,425	19,113	18,353	16,967	-1,386	



## 2 自転車関係事故の発生状況

区分	年別	平28年	平29年	平30年	令元年	令2年	令3年	令4年	令5年	令6年	令7年	増減数
		人身事故件数	27,340	26,791	24,667	22,896	17,352	16,929	16,372	16,281	15,551	14,458
自転車の事故	関係事故件数	5,945	6,207	5,881	5,716	4,311	4,344	4,162	4,184	3,870	3,592	-278
	構成率	21.7%	23.2%	23.8%	25.0%	24.8%	25.7%	25.4%	25.7%	24.9%	24.8%	-
自乗 転用 車中	死者	30	22	13	25	23	12	22	13	11	15	4
	傷者	5,800	6,138	5,799	5,614	4,210	4,211	4,050	4,061	3,735	3,458	-277
	計	5,830	6,160	5,812	5,639	4,233	4,223	4,072	4,074	3,746	3,473	-273



令和7年中の自転車関係事故は3,592件（前年対比-278件）で減少しており、全人身事故の24.8%を占めている。

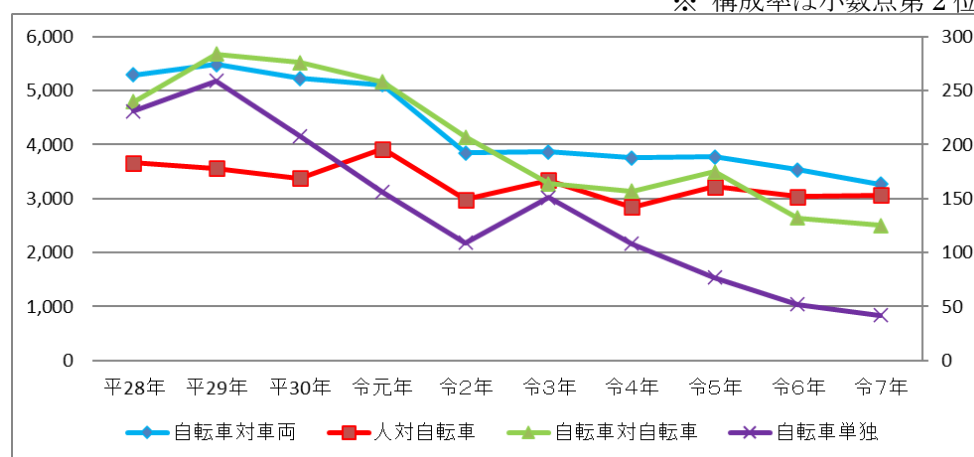
また、交通事故件数は年々減少しているものの、全人身事故に占める構成率は10年前から微増し、近年は全人身事故の25%前後で推移している。

### 3 自転車関係事故の類型別発生状況

#### (1) 事故類型

区分		年別	平28年	平29年	平30年	令元年	令2年	令3年	令4年	令5年	令6年	令7年	増減数
事故 類 型 件 数	合計(件)		5,945	6,207	5,881	5,716	4,311	4,344	4,162	4,184	3,870	3,592	-278
	人対自転車		183	178	169	196	149	167	142	161	152	153	1
	構成率		3.1%	2.9%	2.9%	3.4%	3.5%	3.8%	3.4%	3.8%	3.9%	4.3%	-
	自転車対車両		5,291	5,486	5,228	5,106	3,846	3,862	3,755	3,771	3,533	3,271	-262
	構成率		89.0%	88.4%	88.9%	89.3%	89.2%	88.9%	90.2%	90.1%	91.3%	91.1%	-
	自転車対自転車		240	284	276	258	207	164	157	175	132	125	-7
	構成率		4.0%	4.6%	4.7%	4.5%	4.8%	3.8%	3.8%	4.2%	3.4%	3.5%	-
	自転車単独		231	259	208	156	109	151	108	77	52	42	-10
	構成率		3.9%	4.2%	3.5%	2.7%	2.5%	3.5%	2.6%	1.8%	1.3%	1.2%	-
	列車		0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	±0
構成率		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	-	

※ 構成率は小数点第2位を四捨五入した



※ 自転車対車両のみ左軸

令和7年中の自転車が関係する交通事故3,592件のうち、自転車対車両の交通事故が3,271件(91.1%)で最も多い。

#### (2) 自転車対車両(自転車対自転車を含む)の交通事故状況

区分	年別	平28年	平29年	平30年	令元年	令2年	令3年	令4年	令5年	令6年	令7年	増減数
自転車対車両件数 (自転車対自転車を含む)		5,531	5,770	5,504	5,364	4,053	4,026	3,912	3,946	3,665	3,396	-269
出会頭		3,496	3,236	3,186	2,353	2,387	2,282	2,303	2,303	1,846	1,769	-77
構成率		63.2%	56.1%	57.9%	43.9%	58.9%	56.7%	58.9%	58.4%	50.4%	52.1%	-
右左折時		1,481	1,464	1,427	1,413	1,385	1,065	1,094	1,069	1,354	1,198	-156
その他(正面衝突・追突等)		820	782	847	855	793	635	545	561	465	429	-36

令和7年中の自転車対車両(自転車対自転車を含む)の交通事故3,396件のうち、出会頭の交通事故が52.1%を占める。

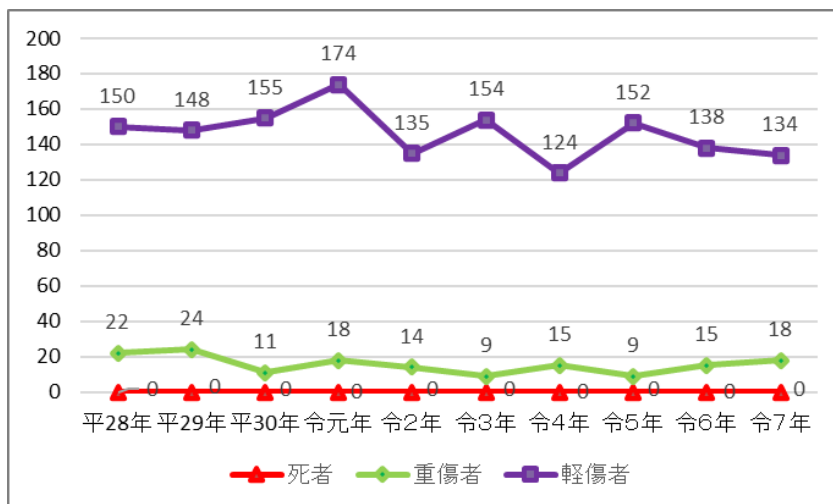
#### (3) 人対自転車の交通事故発生状況

区分	年別	平28年	平29年	平30年	令元年	令2年	令3年	令4年	令5年	令6年	令7年	増減数
自転車関係事故件数		5,945	6,207	5,881	5,716	4,311	4,344	4,162	4,184	3,870	3,592	-278
人対自転車の事故件数		183	178	169	196	149	167	142	161	152	153	1
自転車関係事故に 占める構成率		3.1%	2.9%	2.9%	3.4%	3.5%	3.8%	3.4%	3.8%	3.9%	4.3%	-

令和7年中の人対自転車の交通事故は、153件(前年対比+1件)であり、過去10年を比較すると、構成率はほぼ横ばいで推移している。

### ① 人対自転車の交通事故による歩行者の死傷状況

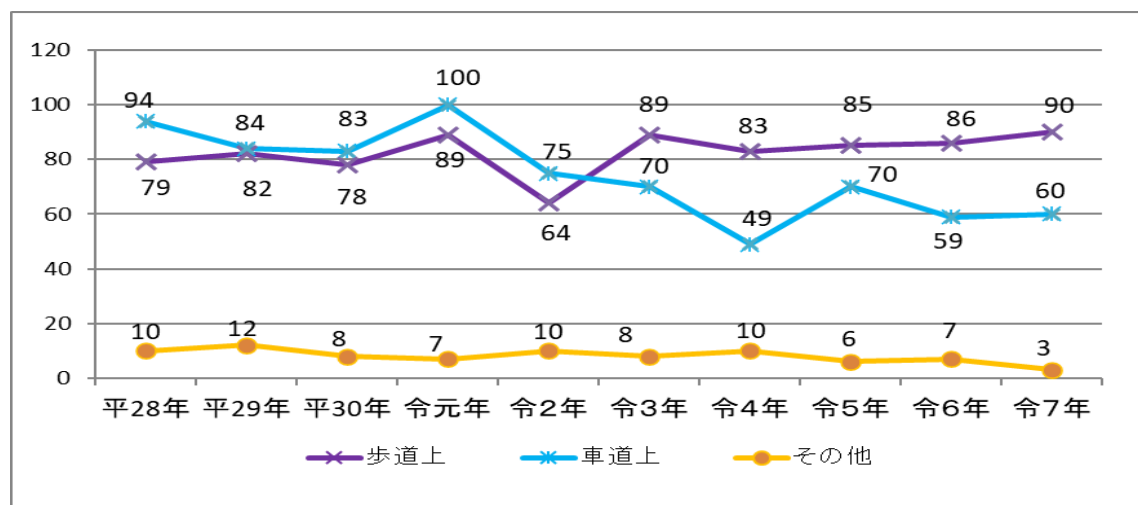
区分		年別										増減数
		平28年	平29年	平30年	令元年	令2年	令3年	令4年	令5年	令6年	令7年	
人対自転車の死傷者		193	184	178	205	160	172	147	168	156	157	1
歩行者等	計	172	172	166	192	149	163	139	161	153	152	-1
	死者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	±0
	重傷者	22	24	11	18	14	9	15	9	15	18	+3
	軽傷者	150	148	155	174	135	154	124	152	138	134	-4



令和7年中の人対自転車の交通事故による歩行者の負傷者は152人で、そのうち18人(11.8%)が重傷、134人(88.1%)が軽傷となっている。

### ② 人対自転車の交通事故の衝突地点

区分		年別										増減数
		平28年	平29年	平30年	令元年	令2年	令3年	令4年	令5年	令6年	令7年	
人対自転車の事故件数		183	178	169	196	149	167	142	161	152	153	+1
衝突地点	歩道上	79	82	78	89	64	89	83	85	86	90	+4
	構成率	43.2%	46.1%	46.2%	45.4%	43.0%	53.3%	58.5%	52.8%	56.6%	58.8%	-
	車道上	94	84	83	100	75	70	49	70	59	60	1
	その他	10	12	8	7	10	8	10	6	7	3	-4

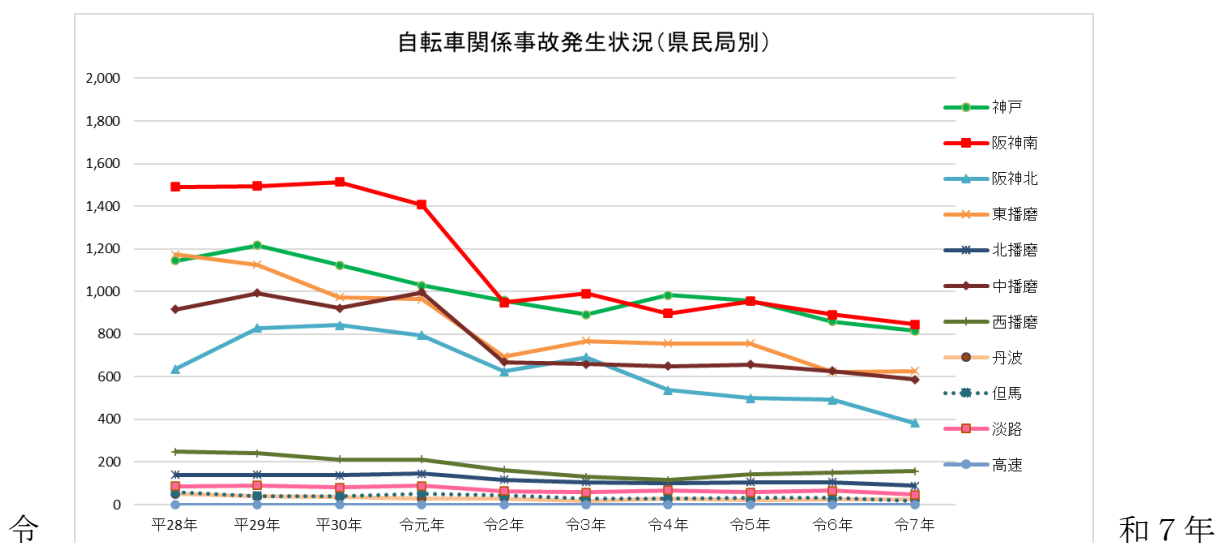


令和7年中の人対自転車の交通事故153件のうち、歩道上での衝突が90件(58.8%)となっており、半数以上が歩道上での衝突事故である。

#### 4 自転車関係事故の地域別発生状況

##### (1) 県民局別発生状況

年別 県民局別	平28年	平29年	平30年	令元年	令2年	令3年	令4年	令5年	令6年	令7年	増減数
合計	5,945	6,207	5,881	5,716	4,311	4,344	4,162	4,184	3,870	3,592	-278
神戸県民センター	1,144	1,216	1,123	1,029	958	892	982	957	860	816	-44
阪神南県民センター	1,491	1,494	1,513	1,407	949	991	898	954	892	845	-47
阪神北県民局	637	828	842	795	625	691	538	499	491	384	-107
東播磨県民局	1,174	1,126	974	963	696	767	756	756	623	627	4
北播磨県民局	140	140	138	145	117	106	102	105	105	88	-17
中播磨県民センター	917	992	922	996	668	660	649	658	627	588	-39
西播磨県民局	248	240	212	212	162	130	115	143	150	157	+7
丹波県民局	50	39	35	27	30	18	28	21	23	23	±0
但馬県民局	58	41	41	53	42	30	27	33	34	18	-16
淡路県民局	86	91	81	89	64	59	67	58	65	46	-19
高速道路	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	±0



中の自転車関係事故のうち、阪神南地域が最も多く、次いで神戸地域、東播磨地域、中播磨地域となっている。

##### (2) 市区町別発生状況

市区町別	区分	人身事故			自転車乗用中	
		人数	自転車関係事故	構成率	死者	傷者
合計		14,458	3,592	24.8%	15	3,458
神戸	神戸市小計	3,959	816	20.6%	1	768
	東灘区	377	94	24.9%		93
	灘区	365	88	24.1%		78
	兵庫区	354	105	29.7%		100
	長田区	249	85	34.1%		85
	須磨区	251	38	15.1%		37
	垂水区	412	61	14.8%	1	54
	北区	470	43	9.1%		43
	中央区	706	173	24.5%		151
	西区	775	129	16.6%		127
阪神南	尼崎市	1,103	434	39.3%	4	419
	西宮市	887	327	36.9%	2	310
	芦屋市	251	84	33.5%		76
神戸	伊丹市	365	119	32.6%	1	114
	宝塚市	294	86	29.3%		85
	川西市	436	123	28.2%		120
	三田市	205	42	20.5%		42
北播磨	猪名川町	46	14	30.4%		14
東播磨	明石市	947	272	28.7%		264
	加古川市	758	234	30.9%	1	232
	高砂市	248	76	30.6%		74
	稲美町	113	24	21.2%		23
北播磨	播磨町	68	21	30.9%		21
	西脇市	70	15	21.4%		15
	三木市	245	18	7.3%		17
播磨	小野市	135	19	14.1%		19
	加西市	120	19	15.8%		19
	加東市	110	15	13.6%		15
多可町		20	2	10.0%		2

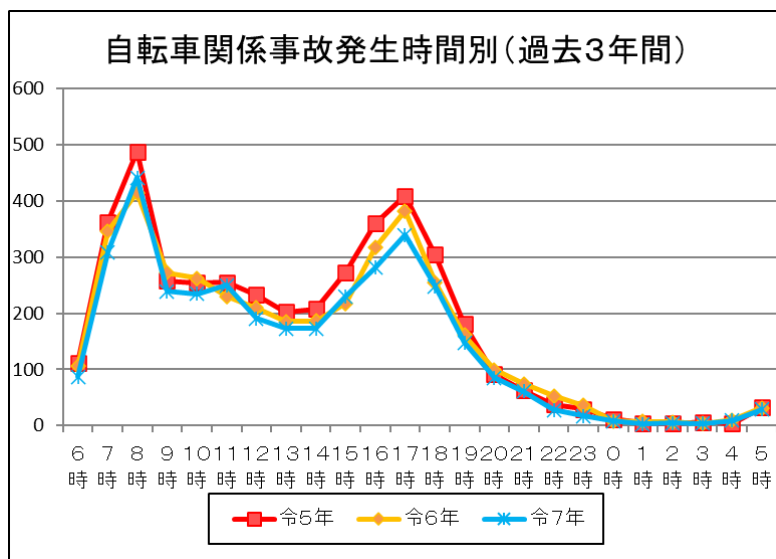
市区町別	区分	人身事故			自転車乗用中	
		人数	自転車関係事故	構成率	死者	傷者
中播磨	姫路市	1,988	574	28.9%	5	556
	市川町	18	4	22.2%		4
	福崎町	73	9	12.3%		7
西播磨	神河町	13	1	7.7%		
	相生市	95	17	17.9%		17
	たつの市	271	50	18.5%		49
丹波	赤穂市	134	36	26.9%		36
	宍粟市	63	6	9.5%		6
	太子町	124	42	33.9%		42
	上郡町	28	5	17.9%		5
但馬	佐用町	25	1	4.0%		1
	丹波篠山市	84	12	14.3%		12
	丹波市	79	11	13.9%		11
	豊岡市	116	10	8.6%		10
	養父市	25	2	8.0%		2
	朝来市	47	4	8.5%		3
	香美町	16	1	6.3%		1
淡路	新温泉町	12	1	8.3%		1
	洲本市	88	17	19.3%		18
	南あわじ市	123	19	15.4%		19
高速道路等	淡路市	108	10	9.3%	1	9
	合計	548		0.0%		

全人身事故に占める自転車関係事故の割合は、尼崎市・西宮市が35%以上となっている。

## 5 自転車事故の時間別発生状況

### (1) 自転車関係事故件数

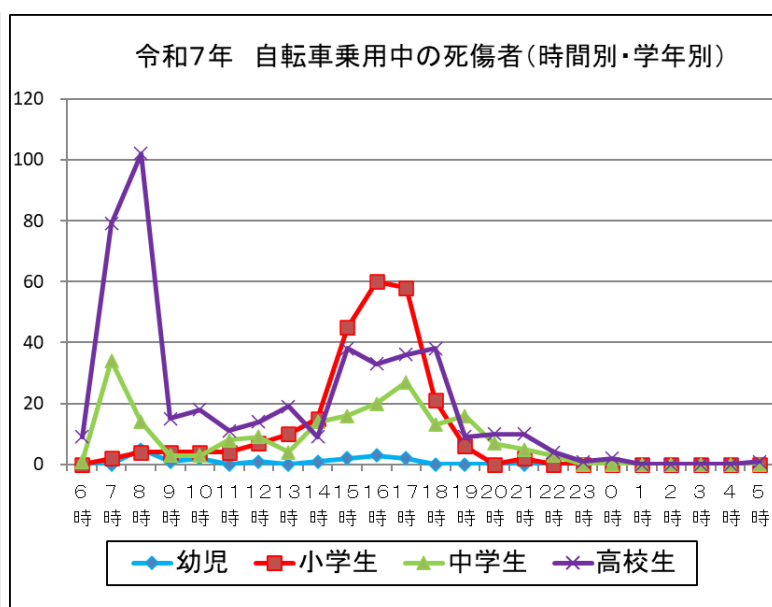
年別		令5年	令6年	令7年	増減数
昼間	計	3414	3126	2947	-179
	6時	112	106	87	-19
	7時	362	346	309	-37
	8時	488	414	441	27
	9時	258	272	239	-33
	10時	254	262	234	-28
	11時	255	230	250	20
	12時	233	209	191	-18
	13時	202	185	173	-12
	14時	208	186	173	-13
	15時	273	217	230	13
	16時	360	317	281	-36
	17時	409	382	339	-43
	夜間	計	770	744	645
18時		304	255	248	-7
19時		181	161	148	-13
20時		91	99	85	-14
21時		63	74	61	-13
22時		38	53	28	-15
23時		30	36	17	-19
0時		12	8	8	0
1時		5	7	3	-4
2時		4	6	5	-1
3時		6	4	4	0
4時		4	10	9	-1
5時		32	31	29	-2
合計		4184	3870	3592	-278



例年、通勤・通学時間帯の8時台、帰宅時間帯の17時台の発生が多い。

### (2) 学年別自転車乗用中の死傷者数

時間別	当事者別	死傷者				計
		幼児	小学生	中学生	高校生	
昼間	6時	0	0	1	9	10
	7時	0	2	34	79	115
	8時	5	4	14	102	125
	9時	1	4	3	15	23
	10時	2	4	3	18	27
	11時	0	4	8	11	23
	12時	1	7	9	14	31
	13時	0	10	4	19	33
	14時	1	15	14	9	39
	15時	2	45	16	38	101
	16時	3	60	20	33	116
	17時	2	58	27	36	123
	計	17	213	153	383	766
	夜間	18時	0	21	13	38
19時		0	6	16	9	31
20時		0	0	7	10	17
21時		0	2	5	10	17
22時		0	0	3	4	7
23時		0	0	0	1	1
0時		0	0	0	2	2
1時		0	0	0	0	0
2時		0	0	0	0	0
3時		0	0	0	0	0
4時		0	0	0	0	0
5時		0	0	0	1	1
計		0	29	44	75	148
合計		17	242	197	458	914



小学生は15～17時台にかけて、中学生は7時台と15～17時台、高校生は7～8時台と15時～18時台がそれぞれ多くなっている。

## 6 自転車乗用中のヘルメット着用状況

### (1) 死者

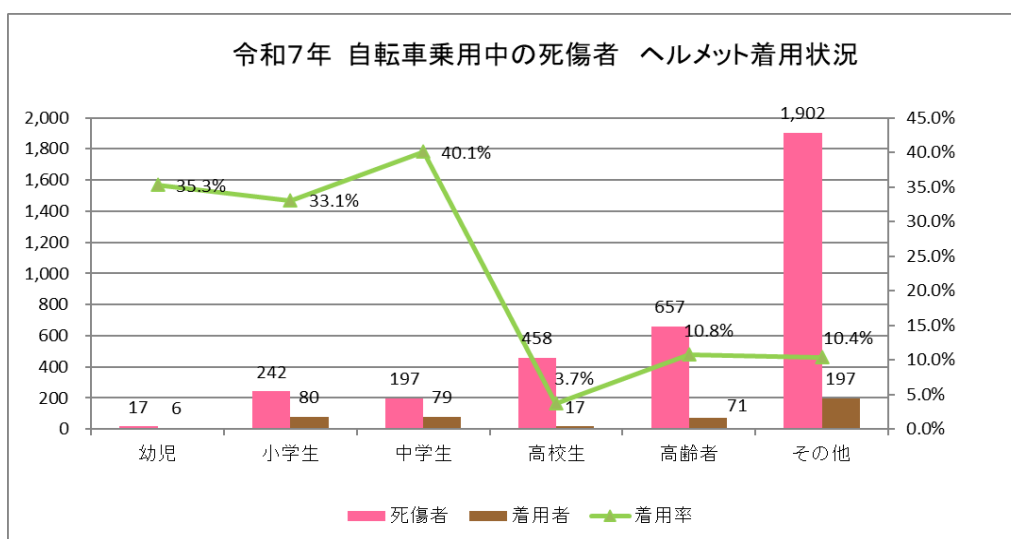
区 分	令和7年						
	幼児	小学生	中学生	高校生	高齢者	その他	合計
死 者	0	1	0	0	8	6	15
着 用	0	0	0	0	0	0	0
着用率	—	0	—	—	0%	0%	0%
離 脱	0	0	0	0	0	0	0
離脱なし	0	0	0	0	0	0	0
離脱不明	0	0	0	0	0	0	0
非 着 用	0	1	0	0	8	6	15
着 用 不 明	0	0	0	0	0	0	0

### (2) 傷者

区 分	令和7年						
	幼児	小学生	中学生	高校生	高齢者	その他	合計
傷 者	17	241	197	458	649	1,896	3,458
着 用	6	80	79	17	71	197	450
着用率	35.3%	33.2%	40.1%	3.7%	10.9%	10.4%	13.0%
離 脱	0	1	4	3	3	6	17
離脱なし	6	79	75	14	68	191	433
離脱不明	0	0	0	0	0	0	0
非 着 用	11	161	118	441	578	1,699	3,008
着 用 不 明	0	0	0	0	0	0	0

### (3) 死傷者

区 分	令和7年						
	幼児	小学生	中学生	高校生	高齢者	その他	合計
死 傷 者	17	242	197	458	657	1,902	3,473
着 用	6	80	79	17	71	197	450
着用率	35.3%	33.1%	40.1%	3.7%	10.8%	10.4%	13.0%
離 脱	0	1	4	3	3	6	17
離脱なし	6	79	75	14	68	191	433
離脱不明	0	0	0	0	0	0	0
非 着 用	11	162	118	441	586	1,705	3,023
着 用 不 明	0	0	0	0	0	0	0



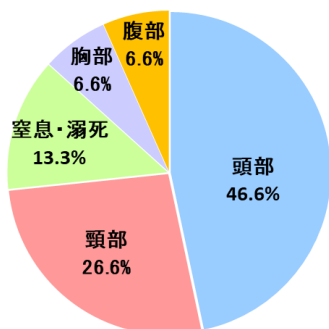
令和7年中の自転車乗用中死傷者3,473人のうち、ヘルメット着用者は450人で着用率は全死傷者の13.0%であった。幼児の着用率は35.3%、小学生は33.1%、中学生は40.1%であった。高校生の着用率が最も低く、3.7%であった。

## 7 自転車乗用中死傷者の主要損傷部位

### (1) 死者

区 分	幼児	小学生	中学生	高校生	高齢者	その他	合計
合計	0	1	0	0	8	6	15
全損	0	0	0	0	0	0	0
頭部	0	1	0	0	4	2	7
顔部	0	0	0	0	0	0	0
頸部	0	0	0	0	3	1	4
胸部	0	0	0	0	0	1	1
腹部	0	0	0	0	0	1	1
背部	0	0	0	0	0	0	0
腰部	0	0	0	0	0	0	0
腕部	0	0	0	0	0	0	0
脚部	0	0	0	0	0	0	0
窒息・溺死	0	0	0	0	1	1	2

令和7年中 自転車乗用中の死者(主要損傷部位)



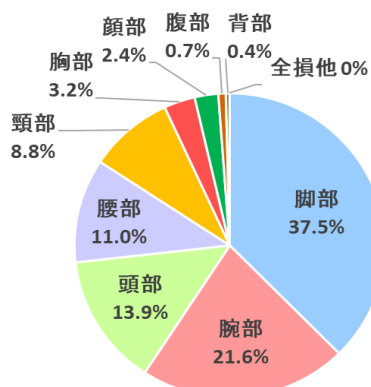
自転車乗用中死者 15 人の主要損傷部位は、頭部が 7 人で全体の 46.6% を占める。

また、死者 15 人のうち高齢者は 8 人 (53.3%) で、主要損傷部位は頭部で 4 人と最も多い。

### (2) 傷者

区 分	幼児	小学生	中学生	高校生	高齢者	その他	合 計
合 計	17	241	197	458	649	1,896	3,458
全損	0	0	0	0	0	0	0
頭部	8	28	23	63	138	224	484
顔部	1	8	6	11	16	43	85
頸部	0	15	19	37	50	185	306
胸部	0	3	5	9	41	54	112
腹部	0	3	0	3	4	17	27
背部	0	1	0	1	3	9	14
腰部	0	15	18	39	71	239	382
腕部	2	49	49	110	140	399	749
脚部	6	119	77	185	186	726	1,299
窒息・溺死	0	0	0	0	0	0	0

令和7年中 自転車乗用中の傷者(主要損傷部位)



自転車乗用中傷者 3,458 人の主要損傷部位は、脚部が 1,299 人 (37.5%)、腕部が 749 人 (21.6%)、頭部 484 人 (13.9%) の順になっている。

## 8 自転車乗用中の死傷者の違反

違反別		年別										増減数		
		平28年	平29年	平30年	令元年	令2年	令3年	令4年	令5年	令6年	令7年			
合計		5,830	6,160	5,812	5,639	4,233	4,223	4,072	4,074	3,746	3,473	-273		
小計		5,083	5,557	5,357	5,150	3,849	3,865	3,701	3,629	3,253	3,028	-225		
違反	信号無視	162	161	145	139	86	78	71	79	67	45	-22		
	通行区分	173	147	121	127	105	89	104	105	129	105	-24		
	横断・転回等	135	211	133	173	113	107	106	168	214	138	-76		
	優先通行妨害	156	174	193	169	137	144	152	128	64	143	79		
	交差点安全進行	2,268	2,288	2,560	2,083	1,616	1,638	1,606	1,439	1,238	1,204	-34		
	徐行違反	335	590	192	566	380	352	318	387	385	321	-64		
	一時不停止	462	443	485	475	356	367	316	345	269	250	-19		
	自転車通行方法	31	21	7	48	77	28	43	43	12	24	12		
	あり	安全	ハンドル操作	185	202	171	126	91	100	92	67	31	32	+1
			ブレーキ操作	31	33	18	19	11	21	13	8	7	3	-4
運転		前方不注視	76	91	68	55	40	53	57	45	15	15	±0	
		動静不注視	451	553	644	602	423	474	415	386	448	379	-69	
義務		安全不確認	339	302	294	284	165	142	179	280	249	206	-43	
		その他	119	144	144	99	95	132	101	41	17	36	19	
小計		1,201	1,325	1,339	1,185	825	922	857	827	767	671	-96		
その他の違反		160	197	182	185	154	140	128	108	108	127	+19		
違反不明		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	±0		
違反なし		747	603	455	489	384	358	371	445	493	445	-48		

令和7年中の自転車乗用中の死傷者3,473人のうち、3,028人（87.1%）に何らかの交通違反が認められる。

交通違反のうち、「交差点安全進行義務違反(交差点に進入又は通過するときに、車や歩行者に注意し、できる限り安全な速度と方法で進行しなければならない義務)」が1,204人で最も多く39.7%を占めており、次いで「安全運転義務違反(安全不確認、周囲の通行者(車)等の動静確認、ハンドル・ブレーキ操作など運転に必要な装置を確実に操作する義務等)」が671人で22.1%、次いで徐行場所違反が321人で10.6%を占めている。